

科目名	国際ジェンダー論 I				
英語科目		ナンバリング	RRgi 205		
開講期	春学期	開講学部等	国際関係学部	配当年次	2 年次
教員名	クロス 京子			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

本講義の目的は、ジェンダー（社会的文化的性）概念が、近代社会の4つの社会システム（家族、市場、教育、国家）においていかに作り出されているのかを理解し、国内・国際社会に生成する諸問題をジェンダー視点から学ぶことにある。本講義ではまず、各社会システムにおけるジェンダー化の過程を歴史的・地域的に確認し、現在までの女性とそれを取り巻く社会環境の変化と課題について理解を深め、知識を習得することを目指す。それを踏まえ、とりわけ様々な形態で起こるジェンダーに基づく暴力の根本原因を、権力や政治の観点から考えていく。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク）

講義が中心であるが、テーマによって3～4名でのグループディスカッションやグループワークを行う。

授業内容・授業計画／Course description・plan

1. 導入：ジェンダーとは何か
授業の進め方について全般的な説明を行う。ジェンダー概念について基本的理解を深める。
2. 家族とジェンダー①：「家父長制」という支配システム
家父長制の起源とその定着について学ぶ。
3. 近代家族とジェンダー②：近代家族の機能と課題
近代家族の成立が男女の生き方にどのような影響を及ぼしているのか考える。
4. 労働とジェンダー①：ジェンダー役割分業による労働の支配 「教員-学生間の対話」の実施
ジェンダー役割分業概念の形成と定着について学ぶ。
5. 労働とジェンダー②：女性の労働とそれを取り巻く諸課題
賃金格差や職場慣行、無償労働やケアワークなど現代の女性労働問題について考える。
6. 教育とジェンダー①：教育の男女格差
男女平等教育の成立過程と現代の教育を巡る諸問題について学習する。
7. 教育とジェンダー②：「積極的平等」をめぐる批判と反論
機会の平等なのか、結果の平等なのか、「積極的平等」政策について考える。
8. 前半総括：中間テスト
前半の内容を振り返り、学習内容の習熟度を確認する。
9. 国家とジェンダー①：国際関係論のフェミニズムの見方
中間テストの解説・フィードバックを行ったあと、国際関係論をフェミニズムの視点から分析する意義と分析方法を学習する。
10. 国家とジェンダー②：：国民国家・人権とジェンダー
女性の人権推進の歴史的経緯と参政権運動について理解を深める。
11. 国家とジェンダー③人間・国家・戦争
国家安全保障のジェンダー化された見方とはどのようなものなのか学習する。
12. 国家とジェンダー④：戦争と性暴力 I
慰安婦問題など、戦時性暴力が焦点化されるようになった背景について学習する。

13. 国家とジェンダー⑤：戦争と性暴力Ⅱ

紛争下の性的暴力に対する国際的な取り組みについて学ぶ。

14. 国家とジェンダー⑥：平時における女性への暴力（ディスカッション）

戦争が終わってもなお女性が安全でないのはなぜかという構造的問題を考える。

15. 総括：国家とジェンダーについての学習内容の確認、期末テスト「学習成果実感調査」の実施

授業内容を振り返り、最終的な学びの内容を確認する。

準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

1. 導入：ジェンダーとは何か

【事前学習】シラバスを確認

【事後学習】初回授業の資料を復習

2. 家族とジェンダー①：「家父長制」という支配システム

【事前学習】『政治学の批判的構想』第2章を読み理解する。

【事後学習】授業内で課した課題をムードルにアップする。

3. 近代家族とジェンダー②：近代家族の機能と課題

【事前学習】『ジェンダー論をつかむ』第2章を読み理解する。

【事後学習】授業内で課した課題をムードルにアップする。

4. 労働とジェンダー①：ジェンダー役割分業による労働の支配

【事前学習】『政治学の批判的構想』第3章を読み理解する。

【事後学習】授業内で課した課題をムードルにアップする。

5. 労働とジェンダー②：女性の労働とそれを取り巻く諸課題

【事前学習】『ジェンダー論をつかむ』第3章を読み理解する。

【事後学習】授業内で課した課題をムードルにアップする。

6. 教育とジェンダー①：教育の男女格差

【事前学習】『ジェンダー論をつかむ』第4章を読み理解する。

【事後学習】授業内で課した課題をムードルにアップする。

7. 教育とジェンダー②：「積極的平等」をめぐる批判と反論

【事前学習】『政治学の批判的構想』第5章を読み理解する。

【事後学習】授業内で課した課題をムードルにアップする。

8. 前半総括：中間テスト

【事前学習】前半部分の総復習。

【事後学習】テストに関するフィードバックをムードルにアップする。

9. 国家とジェンダー①：国際関係論のフェミニズムの見方

【事前学習】『国際関係論とジェンダー』第1章を読み理解する。

【事後学習】授業内で課した課題をムードルにアップする。

10. 国家とジェンダー②：国民国家・人権とジェンダー

【事前学習】『ジェンダー論をつかむ』第6章を読み理解する。

【事後学習】授業内で課した課題をムードルにアップする。

11. 国家とジェンダー③：人間・国家・戦争

【事前学習】『国際関係論とジェンダー』第2章を読み理解する。

【事後学習】フィードバックをムードルにアップする。

12. 国家とジェンダー④：戦争と性暴力Ⅰ

【事前学習】事前配布資料を読み理解しておく。

【事後学習】授業内で課した課題をムードルにアップする。

13. 国家とジェンダー⑤：戦争と性暴力Ⅱ

【事前学習】『国際法・国際関係とジェンダー』第3章を読み理解する。

【事後学習】授業内で課した課題をムードルにアップする。

14. 国家とジェンダー⑥：平時における女性への暴力（ディスカッション）

【事前学習】宗教とジェンダーについて、書籍あるいはインターネット等を使ってリサーチをし、自分の意見をまとめる。

【事後学習】授業のフィードバックをムードルにアップする。

15. 総括：国家とジェンダーについての学習内容の確認、期末テスト

【事前学習】後半部分の総復習。

【事後学習】テストに関するフィードバックをムードルにアップする。

※事前学習は各授業2時間、事後学習も各授業2時間必要である。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学習を行うこと。

授業の到達目標/Expected outcome

- ・国際関係論、安全保障研究、社会学、法学という複眼的な視点からにジェンダー問題を理解できるようになる。
- ・身近なテーマとジェンダーのつながりについての多角的な思考能力を醸成し、私たちの住む社会の構造的問題を批判的に分析できるようになる。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- | | |
|------|------------------|
| ・倫理性 | 専門知識・専門技能 |
| ・創造性 | 【国際関係学部 国際関係学科】 |
| | ・国際関係の共生領域に関する知識 |
| | ・学際的な分析力 |

評価方法/Evaluation

中間テスト30%、期末テスト30%、課題・授業への貢献40%

* 授業内で課した小レポートや課題は、授業時に随時フィードバックする。

教 材/Text and materials

教科書は特に指定しないが、必要に応じて下記の参考文献を配布する。

- 参考書：千田有紀・中西裕子・青山薫編著『ジェンダー論をつかむ』（有斐閣、2013年）
衛藤幹子『政治学の批判的構造—ジェンダーからの接近』（法政大学出版局、2017年）
J・アン・ティックナー『国際関係論とジェンダー—安全保障のフェミニズムの見方』（岩波書店、2005年）
上野千鶴子『ナショナリズムとジェンダー新版』（岩波現代文庫、2012年）
植木俊哉・土佐弘之編著『国際法・国際関係とジェンダー』（東北大学出版会・2007年）

質問や相談の方法/Instructor contact

授業に関する質問や相談などがある場合は、授業後に相談するか、担当教員のオフィスアワーに研究室を訪問すること。

研究室：第6研究棟 203号室
オフィス・アワー：火曜日 12時30分～13時